

創立150周年記念式典



館林市立第八小学校 校歌

作詞 梅田 輝夫
作曲 荒井チヤ子

一 おおりも高い松林

そびえるいらか 学舎に

明るく清く たくましく

きょうも伸びゆくすくすくと

われら われら 第八小学校

二 大谷の原に花とさく

偉人の血潮 受けついで

日本のあすを開くため

力のかぎりつとめよう

われら われら 第八小学校

三 輝く未来築くため

高い理想を 胸にして

進もうともに 肩組んで

足音あわせ高らかに

われら われら 第八小学校

※昭和41年制定、作詞は梅田輝夫校長が、作曲は荒井チヤ子教諭が行いました

次第 11:30-12:25

- 1 開式の言葉
- 2 校歌斉唱
- 3 創立150周年記念事業実行委員長あいさつ
- 4 児童代表の言葉
- 5 校長あいさつ
- 6 来賓祝辞及び来賓紹介
- 7 新校旗披露
- 8 記念講演及びメッセージ
- 9 閉式の言葉



令和5年12月19日(火)
館林市立第八小学校



☆本資料のカラー版は、右QRコードから本校HPにアクセスし、「通信・お便り」内の『創立150周年式典パンフレット』をダウンロードしてください

学校教育目標

- 基本目標 「自ら学び 心豊かでたくましく生きる児童」の育成
- 具体目標
- 進んで学ぶ子 <かしこく>
・自ら学び、自ら考え、より高い自分を求めて努力する子
 - 力を合わせる子 <やさしく>
・温かな思いやりをもち、協力して共に高まろうとする子
 - がんばりつづける子 <たくましく>
・心と体をきたえ、夢や希望の実現に向けて粘り強く努力する子

目指す学校像

◎児童と教師が笑顔で楽しく前向きに学び、高め合える学校

- 子どもたちが生き生きと学ぶ活気ある学校
- 一人一人を大切に作る安全・安心な学校
- 家庭や地域から信頼される学校

令和5年度の学校経営の根幹



【職員数(12/1現在)】

職種別	県費負担職員			市費職員		
	性	男	女	計	職 種	計
校 長		1	0	1	教諭補助員	1
教 頭		1	0	1	特別支援教育介助員	3
教 諭		9	14	23	看護師	1
養護教諭		0	1	1	用務員	2
主幹事務長		0	1	1	校務員	1
非常勤講師		0	2	2	学校司書	1
スクールカウンセラー		0	1	1	C Sディレクター	1
					A L T	1
					外国語指導助手	1
計		11	19	30	計	12

【学年及び学級別児童数(12/1現在)】

	1年			2年			3年			4年			5年			6年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
一組	1	0	1	1	0	1	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二組	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	1	3	1	1	2
三組	2	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1
四組	1	2	3	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1
五組	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0	2	0	2	1	0	1
1組	13	16	29	12	11	23	13	19	32	18	15	33	16	17	33	16	14	30
2組	13	16	29	12	12	24	13	20	33	17	15	32	15	18	33	16	15	31
3組				12	12	24										16	14	30
小計	28	34	64	39	35	74	33	41	74	35	30	65	36	36	72	52	44	96
合計	男子 225名			女子 220名			計 445名											

※漢数字の組は特別支援学級(一～二は知的、三～五は自閉・情緒)を表しています
 ※通級指導教室も設置しています

【歴代校長】

代	在職期間			氏名	
1	7年1月	～	8年5月	1年5月	宮杉 啓蔵
2	8.6	～	8.12	0年7月	小澤鋒次郎
3	8.12	～	10.4	1年5月	天野 憲景
4	10.4	～	18.4	8年1月	仁科 信明
5	18.4	～	21.6	3年3月	坂本恒次郎
6	21.7	～	24.3	3年9月	粕谷 留吉
7	24.4	～	26.3	1年11月	仁科 信明
8	26.3	～	35.5	4年3月	長田 八郎
9	35.5	～	大正2.3	10年11月	島田 鐘蔵
10	2.3	～	5.7	3年5月	福田 啓作
11	5.8	～	8.4	2年9月	越澤仁十郎
12	8.4	～	9.2	0年11月	清水 民治
13	9.3	～	12.3	3年1月	進藤 長作
14	12.3	～	昭和4.4	6年2月	福田 啓作
15	4.4	～	16.3	12年0月	柿沼 西蔵
16	16.4	～	18.3	2年0月	新島 武平
17	18.4	～	20.3	2年0月	布川 英三
18	20.4	～	21.3	1年0月	山口 政八
19	21.4	～	22.3	1年0月	森 福治
20	22.4	～	26.3	4年0月	若江儀三郎
21	26.4	～	31.3	5年0月	新井 浚作
22	31.4	～	34.3	3年0月	高橋 三郎
23	34.4	～	41.3	7年0月	梅田 輝夫
24	41.4	～	44.3	3年0月	赤坂 新治
25	44.4	～	50.3	6年0月	前澤 正之
26	50.4	～	52.3	2年0月	瀬山 雅民
27	52.4	～	53.3	1年0月	藤倉 国雄
28	53.4	～	55.3	2年0月	田島 弘
29	55.4	～	58.3	3年0月	高瀬 利一
30	58.4	～	61.3	3年0月	関口茂一郎
31	61.4	～	平成元.3	3年0月	田名網 明
32	元.4	～	4.3	3年0月	柿沼 貞吉
33	4.4	～	6.3	2年0月	山口 武志
34	6.4	～	7.3	1年0月	大根田真夫
35	7.4	～	9.3	2年0月	橋本 文夫
36	9.4	～	12.3	3年0月	石関 幸夫
37	12.4	～	15.3	3年0月	荒井 晃
38	15.4	～	17.3	2年0月	吉間 常明
39	17.4	～	21.3	4年0月	井野口昇平
40	21.4	～	22.3	1年0月	小須田雅信
41	22.4	～	25.3	3年0月	小林 正夫
42	25.4	～	28.3	3年0月	田野入康裕
43	28.4	～	29.3	1年0月	小林 淳一
44	29.4	～	令和2.3	3年0月	関野 利男
45	2.4	～	4.3	2年0月	青木わかば
46	4.4	～	現	1年8月	橋本 文明

【歴代PTA会長】

代	在任期間			氏名	
1	昭和23.4	～	25.3	2年0月	飯島連次郎
2	25.4	～	30.3	5年0月	井野口角太郎
3	30.4	～	31.3	1年0月	長澤貞次郎
4	31.4	～	35.3	4年0月	長倉 孫三
5	35.4	～	37.3	2年0月	井野口市三郎
6	37.4	～	45.3	8年0月	内藤 幸十
7	45.4	～	49.3	4年0月	原 孫一郎
8	49.4	～	53.3	4年0月	栗原 昭二
9	53.4	～	54.3	1年0月	川上 守男
10	54.4	～	58.3	4年0月	木村 喜一
11	58.4	～	61.3	3年0月	福田 栄次
12	61.4	～	62.3	1年0月	豊田 武
13	62.4	～	63.3	1年0月	根岸 誠一
14	63.4	～	平成3.3	3年0月	中山 勉
15	3.4	～	5.3	2年0月	滝野瀬博志
16	5.4	～	7.3	2年0月	小室 邦夫
17	7.4	～	8.3	1年0月	木村 明夫
18	8.4	～	12.3	4年0月	松本宗一郎
19	12.4	～	14.3	2年0月	小林 郁夫
20	14.4	～	17.3	3年0月	新井 和勝
21	17.4	～	18.3	1年0月	飯島 幹央
22	18.4	～	19.3	1年0月	高橋 則子
23	19.4	～	20.3	1年0月	本間 正則
24	20.4	～	21.3	1年0月	芥藤 伸二
25	21.4	～	23.3	2年0月	権田 昌弘
26	23.4	～	24.3	1年0月	久保田雄志
27	24.4	～	26.3	2年0月	尾花 弘雄
28	26.4	～	28.3	2年0月	木戸 浩之
29	28.4	～	29.3	1年0月	柴崎 年央
30	29.4	～	30.3	1年0月	栗田 祥仁
31	30.4	～	31.3	1年0月	森田 泰生
32	31.4	～	令和2.3	2年0月	小林 隆行
33	2.4	～	3.3	1年0月	吉野 康二
34	3.4	～	4.3	1年0月	鎌田 咲子
35	4.4	～	5.3	1年0月	森田 幸子
36	5.3	～	現	0年8月	久光 里恵

館林市立第八小学校150年の歩み

【明治年代】明治7年(1874)1月20日～明治45年(1912)7月30日

明治6年度(1873)

12. 足次村観音寺に、高根・木戸・成島他7か村が連合して「敬業学舎」創立
 ※当時の観音寺は、現在の位置よりも九小側にあった

明治7年1月20日 「敬業学舎」開校、生徒50余名 ※当時は栃木県

明治7年度(1874)

08. 生徒数増加のため、下早川田村に第1分校「早川学舎」設置

明治8年度(1875)

06. 生徒数増加及び高根・木戸・成島のため、高根村龍興寺に第2分校「高明学舎」設置
 ※龍興寺は、現在の位置と変わらず
 10. 進級試験始まる ※進級・卒業試験のこと

明治9年度(1876)

- 08.21 第2次群馬県が成立し、邑楽(館林)は群馬県所属となる

明治10年度(1877)

- 05.21 「学舎」を廃し、「敬業学校」「早川学校」「高明学校」となる

明治16年度(1883)

- 01.14 「早川学校」は、経済上の理由により、中等科以上の生徒を敬業学校へ移し、規模を縮小

明治17年度(1884)

- 02.23 「敬業学校」は「邑楽第十七小学校」へ改称、高明学校は「邑楽第十七小学校分校」となり、早川学校は廃校となる

明治18年度(1885)

- 03.31 「邑楽第十七小学校分校」は独立し、「邑楽第二十二尋常小学校」と改称

明治19年度(1886)

- 04.01 小学校令公布、小学校は尋常科(4年間)と高等科(5年間)に分かれる

明治20年度(1887)

- 04.01 「邑楽第二十二尋常小学校」は「第二百四十学区高根尋常小学校」へ改称

明治21年度(1888)

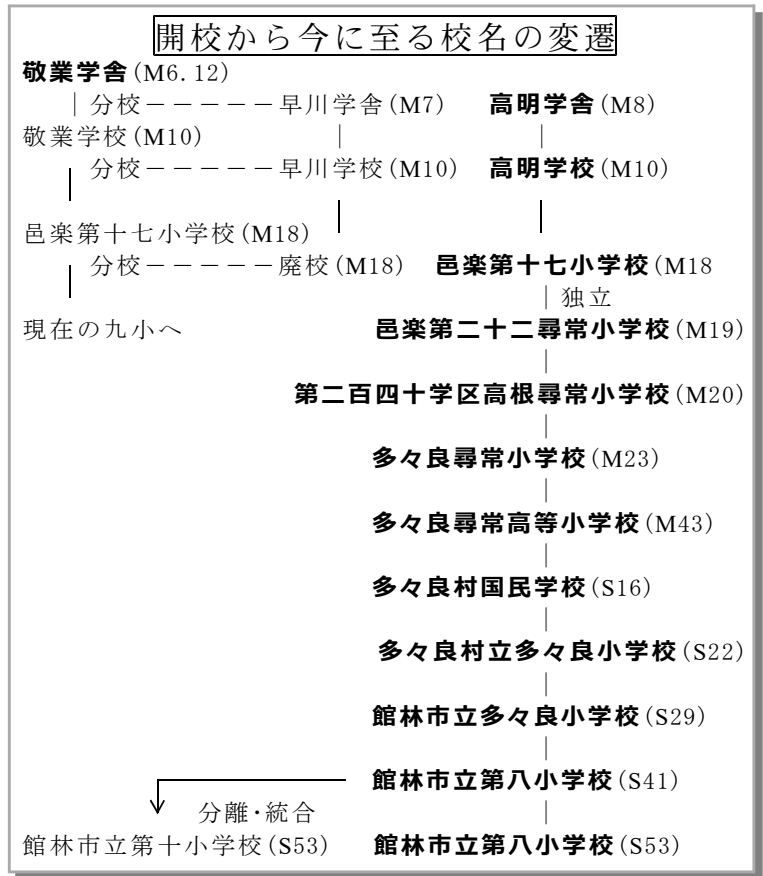
- 02.11 大日本帝国憲法発布の大典を、校庭に全生徒集合し挙行

明治22年度(1889)

- 05.09 高根・木戸・成島・日向・谷越の五村が合併し「多々良村」となる

明治23年度(1890)

- 05.09 町村制実施のため「第二百四十学区高根尋常小学校」は「多々良尋常小学校」へ校名変更
 12.25 教育勅語下賜



明治27年度(1894)

08.01 日清戦争勃発

明治30年度(1897)

04.08 **新校舍落成** ※現在の八小の場所へ移転(元は龍興寺の土地だった)

02.15 日露戦争に備え軍備拡張のため、貯蓄教育始まる

明治32年度(1899)

10.21 邑楽郡小学校連合運動会を尾曳城址三の丸にて、参加者3,200余人で実施

明治33年度(1900)

04.01 尋常小学校は4年に統一され、4年間の義務教育が完全施行、授業料の徴収と従来の試験方法を廃止

04.01 始期を4月、終期を3月末日に統一

明治35年度(1902)

12.12 特別学級を編成し、授業を開始 ※邑楽郡内小学校で初

03.24 卒業証書及び修業証書授与式挙

明治36年度(1903)

02.06 日露戦争勃発

02.15 日露戦争での軍備拡張政策のため、学校として郵便貯金を開始

明治37年度(1904)

05.31 学校と家庭との連絡を密にし、教育効果を増進するため、父兄懇談会創設

明治38年度(1905)

11.14 **第1回秋季運動会**を校庭で実施

12.01 「多々良村青年夜学会」が校内に創立(～M39.02.29)

明治40年度(1907)

04.01 「入学式」が初めて行われる

08.27 東武伊勢崎線の川俣一足利間が開通し、「館林駅」「中野駅(現多々良駅)」が開業

明治41年度(1908)

04.01 学業成績による学級編成開始

04.08 入学式は8日に行われるようになる
義務教育が6年間となる

05. 朝会始まる(毎週月曜日は30分早く始業し、教員が順番に教訓を述べる)

05.30 増築校舍落成

07. **夏季休業中の宿題を開始**し、第3学年以上は夏休み中毎日日記を書く
家庭訪問始まる(夏季休業中)

夏季休業中の招集日(登校日)始まる

11.17 日露戦争平和克復記念として、郊外遠足始まる(第6学年除く)

02.10 学芸会始まる

明治42年度(1909)

04. 夏季休業中の家庭訪問に代わり、春秋2回の父兄面談始まる

10.26 第6学年、東京方面へ**鉄道を使い1泊2日の修学旅行**を実施
※館林小学校と合同

教科目の変遷 ※<>内は実施年

<M13>修身・読書・習字・算術・唱歌・体操

<M19>修身・読書・作文・習字・算術・地理・歴史
理科・体操

※土地の状況で図画・唱歌・裁縫(女兒)の
一科もしくは数教科を加えることも可

<M23>修身・読書・作文・習字・算術・体操

※土地の状況で体操を外し、日本地理・日本
歴史・図画・唱歌・手工の一科目または数教
科を加え、女兒のために裁縫を加えるこ
とも可

<M33>修身・国語・算術・体操

<M40>修身・国語・算術・日本歴史・地理・理科
図画・唱歌・体操・裁縫(女子)・手工(土地
の状況による)

<S16>国民科(修身・国語・国史・地理)・理数科
(算数・理科)・体錬科(体操・武道)・芸能
科(音楽・習字・図画・工作・裁縫(女子))

<S22>国語・社会・算数・理科・音楽・図画工作
家庭・体育・自由研究

<S26>「家庭」は高学年のみに

<S33>「自由研究」は廃止、「特別教育活動及
び学校行事」と「道徳」の時間の新設

<S43>「特別教育活動及び学校行事」は「特
別活動」へ

<S55>ゆとり教育のため授業時数削減

<H04>低学年の「社会」「理科」を廃止し、「生
活」を新設

<H14>3年生以上に「総合的な学習の時間」を
新設

<H23>高学年に「外国語活動」を導入

<H27>「道徳」が「特別の教科 道徳」へ

<R02>高学年に「外国語」が新設、中学年は
「外国語活動」へ

明治43年度(1910)

- 04.01 高等科を併置し、尋常科1～6年と高等科1～2年となり、「**多々良尋常高等小学校**」へ校名変更
- 08.11 台風による連日の豪雨により、利根川・渡良瀬川の堤防が決壊し、高根でも多くの住家に浸水

明治44年度(1911)

- 04.08 増築校舎落成
- 03.30 卒業証書及び修業証書授与は30日に行われることが定着

明治45年度(1912)

- 04.01 父兄母姉会は年1回となる
- 06.09 放課後を利用して特別児童を対象とした特別授業を開始
- 07.30 午前0時43分天皇崩御、即日皇太子殿下が即位、休校となる

【大正年代】大正元年(1912)7月30日～大正15年(1926)12月25日

大正元年度(1912)

- 07.30 「大正」へ改元

大正2年度(1913)

- 05.16 改築2階建校舎竣工
- 06.08 農繁期休業始まる(本年は10日間) ※昭和34年まで行われる

大正3年度(1914)

- 08.23 第一次世界大戦に参戦
- 03.15 5日間の「授業参観」が行われる ※記録上「授業参観」という言葉はこれが初めて

大正4年度(1915)

- 09.28 県は尋常科第5学年以下の児童、第6学年及び高等科の女児の宿泊旅行を禁止
- 10.29 **校旗制定**

※大正天皇の即位の礼を記念して各校で制作(約30円)され、本旗は校長室に現存

大正5年度(1916)

- 04.01 入学式が再び1日に行われるようになる

大正7年度(1918)

- 02.25 村民有志の寄付金により、理化実験器械が購入され、尋常科5年生が理科実地授業を行う

大正8年度(1919)

- 04.01 本校卒業生女子同窓会開催
- 05.11 多々良村青年会員195人が、渡良瀬川より砂利等を運搬し、本校校庭等を含む周辺整地を行う
- 08.06 中野治房鹿児島高等学校教授理学博士、多々良村産むじなも研究のため来村
- 12.22 多々良沼のむじなもが、国の天然記念物に指定 ※昭和41年3月28日に国指定解除
- 03.05 多々良村、處女会を発足

大正9年度(1920)

- 10.31 校舎の鐘が児童一同から寄贈される
※教育勅語発布30年記念／本鐘は校長室に現存

大正11年度(1922)

- 10.30 多々良村青年会及び處女会は、記念事業として来賓室へ大テーブル1台を寄贈
- 12.01 旧校舎全て2階建てに改築落成

大正12年度(1923)

- 09.01 関東大震災発生、本校も2箇所壁が脱落
- 09.06 義捐金(義援金)として、職員児童一同で56円25銭(現在の約15万円)を贈る
- 10.20 東京地方震災児童に対し、本校児童が雑記帳・鉛筆・その他学用品計851個を贈る



木造校舎の鐘

大正13年度(1924)

- 10.15 本年より、多々良村青年会及びに處女会と連合し運動会を開催、敬老会を初めて招待する ※10.15は多々良村の祝日 ※本校単独の運動会の開催はいつ行われていたか不明
- 10.25 明治天皇の御真影奉安殿建築落成
※ T13.01.26に多々良村臨時村会を開き、本校への建設を決定していたため

大正14年度(1925)

- 10.15 多々良村青年会及びに處女会、消防組員と連合し運動会を開催
- 10.30 本校尋常科児童4名は、県立館林中学校運動会に出場し、郡内各小学校リレー競走に出場し優勝旗を獲得する

大正15年度(1926)

- 10.30 本校尋常科児童4名は、県立館林中学校運動会に出場し、郡内各小学校リレー競走に出場し2連覇を達成する
- 12.25 午前1時35分天皇崩御、即日皇太子殿下が即位

【昭和年代】昭和元年(1926)12月25日～昭和64年(1989)1月7日

昭和元年度(1926)

- 12.25 「昭和」へ改元

昭和4年度(1929)

- 05.31 鉄筋バスケットボールゴール新調
- 10.15 多々良村各種団体連合運動会開催

昭和6年度(1931)

- 04.08 同じ日に、始業式後に入学式が行われることとなる(～ S7)

昭和7年度(1932)

- 07. 国は全国一斉に学校給食を実施する訓令を発する
- 12.01 貧困児童8名に対し給食を開始

昭和8年度(1933)

- 04.07 始業式挙行、入学式は8日に挙行(～ S11)

昭和9年度(1934)

- 05.31 第2校舎を取り壊し、新校舎落成
- 09.20 第2・3校舎を二階建てとする改築終了

昭和10年度(1935)

- 11.01 邑楽郡小学校教員児童連合体育大会を分福球場で開催
- 03.15 邑楽郡小学校教員児童連合音楽大会開催

昭和11年度(1936)

- 05.27 海軍記念簡易運動会開催 ※この後 S18まで行われる
- 03.01 東武伊勢崎線「中野駅」が「多々良駅」へ改称

昭和12年度(1937)

- 10.15 再び多々良村各種団体との連合運動会となる
- 03.27 本年度からこの日に卒業証書授与式挙行

昭和13年度(1938)

- 04.04 再び始業式及び入学式を同日に行う ※この後、頻繁に日が変更される
- 08.01 校庭にて朝のラジオ体操始まる

昭和14年度(1939) ※この頃から教員の出征が始まる

- 06.14 相撲土俵新設 ※08.13に「土俵祭り」開催
- 03.27 二宮金次郎銅像除幕式

昭和15年度(1940)

- 11.03 紀元二千六百年記念事業として、4,413円60銭(現在の約5万円)の寄付を得、国民錬成の必要品として、剣道具・柔道衣・ミシン・オルガン等を購入



S3刊多々良村誌(校長室現存)

児童数：大正5年時656名
→昭和7年時991名(335増)
児童数増加による教室の確保
と校庭拡張のための校舎改築

昭和16年度(1941)

- 04.01 「**多々良村国民学校**」へ校名変更
「教頭」職が加わる
- 04.29 多々良村青少年団、多々良村青年団、多々良村女子青年団が結成
- 12.08 米英両国に対し宣戦布告し、太平洋戦争勃発

昭和17年度(1942)

- 04. 多々良村出身者軍人の村葬儀が頻繁に校庭で行われる(～S20)
- 03.30 戦争のため、二宮金次郎銅像部分を国に献上

昭和18年度(1943)

- 02.02 二宮金次郎石像部分落成式 ※石の台座は銅像作製時のもの

昭和19年度(1944)

- 04. 遠足・修学旅行中止
本校男子職員、入隊のため自然退職相次ぐ(～S20.08.14)
- 11.27 高等科学徒工場動員により、(株)中島飛行機館林工場へ出勤
(～S19.03.31)
- 01.06 多々良村国民学校工場動員以外の生徒を多々良村乙種食糧増産隊に編入



二宮金次郎石像(S19)

昭和20年度(1945)

- 04.02 高等科学徒工場動員継続
- 05.22 多々良村国民義勇隊に高等科男子生徒編入
- 06.22 本校学徒隊結成
- 07.16 空襲激化に伴い、二十数カ所に教場を分散し授業を続行
- 08.06 広島に原爆投下
- 08.09 長崎に原爆投下
- 08.11 帥飛行部隊本校舎一部を充用し駐留開始(～08.16)
- 08.15 **終戦** ※正午にラジオによる玉音放送
- 09.07 訓導(現在の教諭)1名が復員、この後続々と復員訓導が復帰
- 10.15 **多々良村各種団体連合体育大会開催**
- 11.16 郡内国民学校中部班体育大会を館林南国民学校校庭で開催し、本校優勝

昭和21年度(1946)

- 04.08 始業式挙行
- 04.09 入学式挙行
- 07.15 NHK 主催農村慰問演芸会が講堂で開催、全国放送される
- 12.06 高等科児童、日光・中禅寺湖方面に修学旅行実施(～12.07)
- 02.01 多々良村よりピアノ1台寄贈
- 02. 校庭にあった奉安殿を、JA 多々良北側敷地に移す
- 03.03 多々良村婦人会結成
- 03.29 全教室にラジオ設置完了
- 03.30 卒業証書授与式並びに修了式挙行



奉安殿は JA 多々良支所に現存

昭和22年度(1947)

- 04.01 6・3・3・4制が始まるとともに、教頭職がなくなり訓導は「教諭」となる
- 04.07 6・3制を開始するにあたり、21年度の国民学校第6学年児童は、第6学年の教師により、戦争中の遅れを取り戻すための補習授業を行う(～04.19)
- 04.20 6・3制準備のための臨時休業(～04.27)
- 04.23 「**多々良村立多々良小学校**」と校名変更
※全児童数1,094名
- 04.28 始業式挙行
- 05.02 入学式挙行
- 02.06 こども銀行設立

中学校の開校式は一律に S22.
04.29. 多中は新校舎建築のため、S23.02.11まで本校を間借りし、授業を行っていた。

昭和23年度(1948)

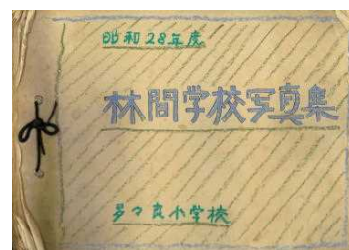
- 04.08 始業式挙行
- 04.09 入学式挙行
- 04.15 第1回「PTA 総会」を開催、当時は「多々良父母と教師の会」と称した
- 05.24 新制高校で週5日制を実施(～ S28)
- 07.17 各部落にて PTA 懇談会実施
- 10.15 秋季運動会開催
- 01.22 初の卒業記念写真撮影
- 01.30 初の PTA 授業参観

昭和24年度(1949)

- 04.25 家庭訪問
- 05.04 遠足再開
- 10.19 各学年の修学旅行が順次再開
- 03.03 初の PTA バザー実施

昭和25年度(1950)

- 08.20 PTA 役員が校庭整備の奉仕作業を行う
- 09.30 多々良中学生が校庭整備作業を行う
- 10.15 多々良村体育祭挙行
- 03.22 第1回高校入試が4教科「国・数・社・理」で行われる



当時の先生がまとめた写真集(S28)

昭和26年度(1951)

- 04.01 「多々良父母と教師の会」は「多々良小学校PTA」と改称
- 08.04 皇太子殿下太田県道(現国道122号)御通過のため職員・児童はお迎えする

昭和27年度(1952)

- 08.03 裏山にて6年生林間学校実施(3泊4日)

昭和28年度(1953)

- 08.01 本校敷地内で6年生林間学校実施(4泊5日)
- 04.08 高校入試9教科「国・数・社・理(各100点)・図工・音・保体・職家・英(各50点)」となる



昭和29年度(1954)

- 04.10 館林市誕生
※館林町・郷谷村・大島村・赤羽村・六郷村・多々良村・渡瀬村・三野谷村が合併
「**館林市立多々良小学校**」へ校名変更
教頭職が復活 ※教頭制の最終的な確立は昭和49年
高校週6日制となる



館林市章

- 03.15 石の滑り台寄贈される ※市制記念／東門付近に現存
- 08.03 裏山で6年生林間学校実施(3泊4日)

昭和30年度(1955)

- 05.14 4～6年生、館林キネマ(当時は現第二小学校の近く)で映画教室実施
※徒歩で移動／清流のときもあった／昭和40年度まで実施
- 05.28 鉄棒新設
- 09.10 給食室完成
- 01.20 購買室設置



寄贈された石の滑り台(S30)

昭和32年度(1957)

- 04.01 第3学年の社会科副読本「のびゆく館林新版」を使用開始
※この副読本は日本で最初に作成されたものである

昭和33年度(1958)

- 04.01 **全校児童数1,187名** ※この年が最大数
- 09.26 台風22号襲来のため、玄関東の青銅倒れ、小鳥小屋倒壊

- 11. 27 皇太子妃に正田美智子嬢に決定
- 03. 03 ミュージックチャイム取付
- 03. 11 校庭南側に PTA 寄贈の雲梯設置

昭和34年度(1959)

- 04. 16 皇太子殿下御結婚祝賀式挙行
- 06. 15 19時30分頃、雷風雨と共に拳大の降雹により、成南北・日向新田が甚大な被害
- 07. 本年まで農繁期休業を実施 ※学校沿革史の記録
- 09. 27 台風15号により東井戸渡廊下10坪の倒壊及び外屋根の破損等被害甚大
- 09. 09 伊勢湾台風被害地に3,634円等を寄付
- 02. 25 多々良農協より映写機一台寄贈



運動会・組み体操(S34)

昭和35年度(1960)

- 12. 17 **新講堂兼体育館竣工**

昭和36年度(1961)

- 04. 01 全校児童数1,000人を割る
- 10. 10 台風24号のため臨時休業
- 10. 30 航空写真撮影
- 11. 25 グランドピアノ購入(市費20万円、PTA 費9万円)
- 03. 02 郵政省主催「お母さん図画」全国1等賞(6年 小和田まさえ)



PTA 監視の下、木戸地区の多々良川での水泳指導(S36頃)

昭和37年度(1962)

- 12. 18 学校保健調査「安全教育」を県教委から指定される
※S40改訂学習指導要領「特別活動」の研究指定のため
- 02. 22 **新校舎(木造)竣工** ※S59まで使用

昭和39年度(1964)

- 07. 15 市制10周年記念鼓笛隊パレード行(高根から日向へ行進)
- 08. 28 多々良小中学校 PTA 会長と小中校長によるプールに関する話し合い
※この後、梅田校長(当時)は、各行政区や農協をまわり、プール設営について話し合う
- 10. 19 校長以下教諭2名及び児童25名が国立競技場で東京オリンピック見学を行う
- 10. 24 プール建設推進委員会を約200名の出席のもと体育館で行い、プールを2機建設するための寄付金500万円(当時)を集めることに決定
- 02. 01 脱脂粉乳給食開始
- 02. 22 **完全給食開始**(一人当たり600円/月)

昭和40年度(1965)

- 08. 03 (株)河本工業様より校庭土(ダンプ6台分)寄贈
- 08. 10 **多々良中学校プール竣工式**
※多中に小プールを併設し使用した(~S55)
※これより前は、多々良沼で教員・保護者監督の下、水泳の授業を行っていた
- 11. 01 皇太子歓迎全児童参加 15:30 国道122号線を通過
- 03. 04 **校歌発表会**



当時の多中プール
(上が小プール)

- ※作詞：梅田輝夫校長 作曲：荒井チヤ子教諭
- ※3月中は「第八小学校」を「多々良小学校」に変えて歌っていた
- 03. 28 多々良沼ムジナモの国指定天然記念物指定が解除

昭和41年度(1966)

- 04. 01 市全小学校の校名をナンバー制に変更
「**館林市立第八小学校**」へ校名変更

昭和42年度(1967)

- 09. 30 学校東側高根歩道橋完成



S41. 02. 03撮影

- 12.06 市養護学校及び市各小学校特殊学級「第1回合同クリスマス会」開催
- 03.27 卒業証書授与式挙(4年生以上参列)
- 03.29 修業式 ※この年から卒業証書授与式と修業式が別日に

昭和43年度(1968)

- 04.28 警備犬種別関東チャンピオン大会本校校庭において開催

昭和46年度(1971)

- 08.31 台風のため臨時休業
- 09. **市学校給食センター8,000食で始業**

昭和47年度(1972)

- 11.13 東北自動車道館林インターチェンジ開通

昭和48年度(1973)

- 05.29 6年生修学旅行「鎌倉・三崎方面」(1泊2日) ※次年度から臨海学校へ変更
- 07.04及び10.25 春秋小運動会 ※次年度から秋のみ運動会を行うことに変更

昭和49年度(1974)

- 04.01 学級数の増加に伴い、**学級の名称を「松竹梅桃」から「算用数字」に変更**
- 07.01 プレハブ校舎に移転開始(音楽室・図工室・家庭室・図書室)
- 07.24 第6学年**第1回東毛臨海学校**参加(2泊3日)
- 08.26 2学期始業式であったが、台風のため臨時休業



現B棟(左上写真)が完成した頃の校舎(現A棟完成前の校舎)

昭和50年度(1975)

- 10.09 **新校舎(現B棟)完成**

昭和53年度(1978)

- 04.01 **本校と六小の一部が分離統合し**十小新設、ただし校舎使用はS54年4月のため、それまでは元の小学校で授業を行う

昭和54年度(1979)

- 09.13 百葉箱設置

昭和55年度(1980)

- 06.02 プール建築着工
 - ※土地は、前教育長木村純夫氏より寄贈
 - ※これに伴い JA 北と公民館北までの道路が真っ直ぐつながっていたものが、現在のようになる

08. **プール完成**

昭和56年度(1981)

- 06.30 本校設置プールとしての第1回プール開き
 - ※前年度までは多々良中学校のプールを使用



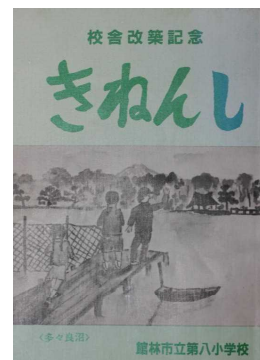
プール完成当時(S56) C棟はまだない

昭和57年度(1982)

- 02.28 **特別教室棟(現C棟)完成**

昭和58年度(1983)

- 04.01 高根町の一部が「西高根町」となり、本校の住所も「西高根町45番地の1」となる
 - ※旧住所は、高根町615番地
- 07.25 新校舎(現A棟)建築着工
- 10.06 校舎改築工事に伴い、大運動会は高根運動場にて実施
- 02.11 PTAで協力し、旧校舎から物品を移転
- 02.16 旧校舎解体完全終了
- 02.28 **新校舎(現A棟)完成**



A棟完成記念誌(S59.03刊)

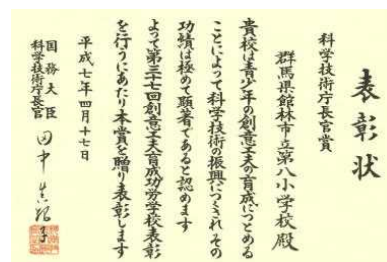
- 03.24 体育館で「校舎改築感謝の会」開催
- 昭和59年度(1984)
- 06.18 3・4年生教室にテレビ設置(計8台)
- 昭和60年度(1985)
- 08.04 利根川昭和橋付近にて6年生水難事故発生
- 昭和61年度(1986)
- 09.24 校庭東・北側道路沿いに防球ネット設置
- 02.10 航空写真撮影(「館八小」の人文字)
- 昭和63年度(1988)・平成元年度(1989.01.08～)
- 04.01 **出席番号が氏名順**となる
※これまでは生年月日順であった
- 07.14 よい歯の子供コンクール群馬県大会 第1位(6年生 高島智子)
- 01.07 午前1時35分天皇崩御、即日皇太子殿下が即位



A棟完成直後(S59.03)

【平成年代】平成元年(1989)1月8日～平成31年(2019)4月30日

- 平成元年度(1988)
- 01.08 「平成」に改元
- 02.16 体育館改修工事終了
- 02.24 昭和天皇大喪の礼のため臨時休業
- 03.08 館林ロータリークラブより、パーソナルワープロ1台市内全小中学校へ寄贈
- 平成3年度(1991)
- 11.08 館林花壇コンクール「最優秀賞」受賞
- 平成4年度(1992)
- 09.12 学校週5日制に伴う第1回目の休業日 ※平成4～6年度は月1回土曜日が休業日
- 12.18 館林ライオンズクラブより市内全小学校へ一輪車寄贈
- 平成5年度(1993)
- 06.09 皇太子徳仁親王の結婚儀のため休業日
- 06.10 群馬テレビ「ぼくらの放送局」に出演・放映
- 平成6年度(1994)
- 04.17 市制施行40周年記念式典
- 11.18 多々良沼で相模原市より寄贈のコブハクチョウ2羽の放鳥式(児童10名参加)
- 01.17 5時46分、阪神淡路大震災発生 ※被災地への義援金(310,673円)を日赤館林支部へ納金
- 02.10 A棟にコンピュータ室設置
- 平成7年度(1995)
- 04.01 学校週5日制に伴う月2回の土曜日の休業日開始
- 04.21 「創意くふうの育成に功績顕著な学校」として、「**科学技術庁長官賞**」受賞
※倉田記念科学技術振興会より副賞十万円贈呈
- 10.17 館林花壇コンクール「会長賞」受賞
- 02.04 第49回上毛かるた競技群馬県大会 団体戦優勝
北成島子ども会(鈴木智成、吉田昌睦、谷侑典、兼松麻里子)



科学技術庁(現在は文科省)長官賞(H7)

平成8年度(1996)

- 10.28 群馬テレビ「ぼくらの放送局」に出演・放映
- 11.26 群馬県環境教育賞「奨励賞」受賞

平成9年度(1997)

- 10.31 館林花壇コンクール「市長賞」受賞
- 01.21 すべり台設置



花いっぱい運動「市長賞」(H9)

平成10年度(1998)

- 01.22 向井千秋さん故郷歓迎会(6年児童参加)

平成11年度(1999)

- 08. 第23回群馬県小学生総合体育大会相撲 個人戦2位 早川晃央
- 第35回群馬県スポーツ少年団大会剣道 個人戦優勝 篠崎友樹
- 01. 第53回上毛かるた競技群馬県大会高学年の部 団体戦優勝
(小島彩、熊倉瓊子、熊倉萌、熊倉悠莉)

平成12年度(2000)

- 03.22 「山田文庫」感謝状贈呈式

※足利在住の山田芳三氏が、奥様(本校出身)の意志を継いで100万円を寄贈。「山田文庫」と命名し、図書室にコーナーを設置。童話・物語など525冊を購入。

平成13年度(2001)

- 04.01 学級編成は毎年行うことと決定
- 06.08 大阪府池田小児童殺傷事件発生
- 06.18 池田小事件に伴う臨時PTA全体集会
- 08. 全国JOC夏季水泳大会女子200mメドレーリレー1位 (島祐里)
- 09.11 台風15号接近のため臨時休校/アメリカ同時多発テロ事件発生

平成14年度(2002)

- 04.01 学校週5日制完全実施
- 06.09 サッカー World Cup 日韓大会開催
- 03.15 おやじクラブによる体育館通路鉄柱の塗装

平成15年度(2003)

- 11.29 PTA研修旅行(八景島シーパラダイス) ※この年をもって終了

平成18年度(2006)

- 10.31 B棟耐震補強工事及びトイレ改修工事完工

平成19年度(2007)

- 08.06 6年生東毛臨海学校(2泊3日) ※この年をもって終了
- 10.24 館林花壇コンクール「市長賞」受賞

平成20年度(2008)

- 10.08 6年生修学旅行「鎌倉方面」(1泊2日) ※S48以来

平成21年度(2009)

- 10.29 新型インフルエンザ流行のため、2・3・5年生が学級閉鎖
- 01.06 教育用ノート PC1台、各教室に配置
- 02.21 おやじクラブによる「堅穴式住居」校庭に完成
- 02.25 体育館耐震補強工事完工

平成22年度(2010)

- 03.11 14時46分、東日本大震災発生

※体育館で全校集会時に地震発生。児童を校庭へ避難誘導後、保護者へ引き渡し。保護者との緊急連絡不能となる。17:05、全児童の保護者への引き渡し完了

平成23年度(2011)

- 02.22 インフルエンザ流行により学校閉鎖(3日間)



最後の臨海学校(H19)

平成25年度(2013)

- 06.13 台風3号接近のため修学旅行延期(06.17~06.18に実施)
- 02.16 降雪のため、職員と保護者有志で除雪作業

平成26年度(2014)

- 10.06 台風18号接近のため臨時休校

平成28年度(2016)

- 04.01 東部教育事務所指定「小小・小中連携推進事業モデル校」及び館林市教育委員会指定「小中連携実践推進校」(2年間)

平成30年度(2018)

- 08.27 新館林市立学校給食センター始業

平成31年度(2019)

- 04.01 NIE 実践指定校(3年間)
- 04.30 天皇退位



食器等にあるイラスト

【令和年代】令和元年(2019)5月1日以降

令和元年度(2019)

- 05.01 「令和」に改元、皇太子殿下即位
- 12.06 令和改元記念航空写真撮影
- 03.02 新型コロナウイルス感染症拡大のため休校措置(~03.26)

令和2年度(2020)

- 04.13 新型コロナウイルス感染症拡大のため臨時休校(~05.29)
- 06.01 分散登校(~14)
- 08.03 A棟屋上防水工事(~10月)



非接触型検温器

令和3年度(2021)

- 04.07 児童用一人1端末導入(3年生以上)
- 08.30 新型コロナウイルス感染症拡大のため分散登校(~09.10)



密を避けた卒業アルバム用集合写真(R3)

令和4年度(2022)

- 04.01 コミュニティ・スクール導入
- 05.26 5年生林間学校、3年ぶりに宿泊で実施(~27)
- 06.10 A, C棟リニューアルトイレ工事開始
- 06.13 第2音楽室、被服室、調理室にエアコン設置
- 06.30 保健室に電話設置
- 11.29 6年生修学旅行3年ぶりに宿泊で実施(~30)
- 02.08 校庭南桜伐採
- 03.02 A, C等リニューアルトイレ完成
- 03.10 A棟相談室1にエアコン設置
- 03.21 校庭東サッカーゴール横の大木伐採(CSによる活動)



3年ぶりの宿泊修学旅行(R4)



リニューアルトイレ(R5)

令和5年度(2023)

- 04.13 1年生簡易給食が昨年度末で廃止となり、2年生以上と同じ給食が開始
- 05.08 新型コロナウイルス感染症が5類へ移行
- 06.01 創立150周年記念航空写真撮影
- 06.08 6年生修学旅行2日目、台風3号接近により、鎌倉市周辺に土砂災害警戒レベル3相当が発令され、班別行動に一部制限を加え実施

06.15 市学校給食センター里沼給食「多々良沼編」

※「鶏肉のホワイトソースがけ」「大麦スープ」「麦落雁」「ゆめロール」

07.15 **全棟外壁修理及び塗装
工事開始**

08.05及び11 プールにてカヌー・カヤック教室実施

08.28 低学年にも一人1端末導入

09.04 おやじクラブがプールに児童から公募した白鳥の壁画を設置

09.30 **創立150周年記念運動会開催**

11.21 **創立150周年記念校内持久走大会開催**

12.19 **創立150周年記念式典開催及び新校旗披露**

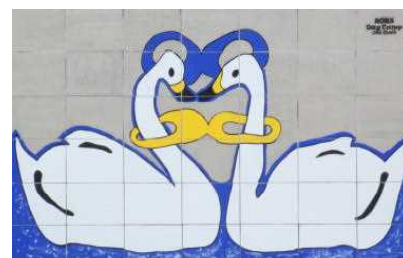
02. 外壁修理及び塗装工事完了予定



里沼献立給食 (R5)



低学年にも PC 導入 (R5)



プールの壁画 (R5)



創立150周年記念運動会「玉入れだよ!!!全員集合」(R5)



着々と進行する外壁工事 (R5. 12)

WISHING YOU AND 8SHO A BRIGHT FUTURE !!

《参考資料》いずれも本校に保管

○敬業学舎から館林市立第八小学校までの学校沿革史

○館林市教育史下巻(平成10年3月30日発行)

○群馬縣邑楽郡多々良村誌(昭和3年12月15日発行)

○館林市教育史上巻(平成7年3月30日発行)

○館林市教育史年表(平成12年1月24日発行)

